私が創る自然浴

取付説明書 ― 乾式ブロック ―

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警 告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注 意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
🔑ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜タイルに対する知識＞

- タイルの長さ、幅、反りは、JIS A 5209の基準に準拠しています。
- タイルは製法上、同色のタイルでも色合いが違う場合があります。

＜施工の前に＞

⚠注 意

- 正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 私が創る自然浴本体の施工は、「私が創る自然浴ー本体総合編ー取付説明書（E131）」で施工してください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 本製品は土止め目的での使用はできません。
- 乾式ブロックは、難燃材を配合していますので、微少火源では着火しにくくなっていますが、燃焼することがありますので、十分に注意してください。
- 80℃以上になると、変形しますので高温のものは近づけないでください。
- 乾式ブロックは、ポリスチレンフォーム製のため、アルコール系以外の有機溶剤や石油類に侵される性質を持っています。油性塗料の塗布は行わないでください。
- 乾式ブロックの変形、破損防止のため、強い衝撃を加えないでください。
- 乾式ブロックの材質劣化を防止するため、長時間直射日光に当らないようにしてください。屋外保管の場合は、表面をシート、ダンボール等で養生をしてください。
- 乾式ブロックが、風で飛散するのを防止するために、シートやネット等で固定してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 施工手順は、「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。

取付説明書区分表

施工手順	使用する取付説明書	取説コード
下段ブロックの固定、 LEDフットライトの取付け	・私が創る自然浴ー乾式ブロックー ・LEDフットライト	E137 Z147
上段ブロックの固定、 インターホン取付け材の取付け	・私が創る自然浴ー乾式ブロックー ・私が創る自然浴ーインターホン取付け材ー	E137 E141

＜基礎工事について＞

⚠注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- タイルの接着には必ず弊社指定の接着剤を使用してください。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など)は使用しないでください。
  使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。
  必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- タイル表面についたモルタル等は速やかに拭き取ってください。硬化後拭き取ると表面を傷めますのでご注意ください。

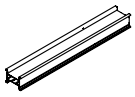
＜電気配線工事について＞

⚠注意

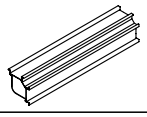
- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- AC100V用の照明器具は、第3種接地工事を行ってください。
- インターホン親機と露出型インターホン子機間の配線を、電灯線、電話回線と平行配線する場合は、500mm以上離してください。音声に雑音が入る場合があります。
- 照明用配線にはVVF ϕ1.6または ϕ2.0の3芯単線(アース線を含む)を、別途準備してください。
- 照明器具には、「EEスイッチ」、「明るさセンサー」または「入切スイッチ」を別途設けてください。
- インターホン用信号線には、VCTF0.75mm^{2}のより線、または ϕ1.0単線2芯か3芯を別途準備してください。
- PF管は現場で別途手配してください。

■梱包明細書

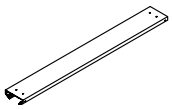
1 乾式柱

名　称	略　図	員　数
乾式柱		1
取付説明書〈E137〉	ー	1
取扱説明書〈UE027〉	ー	1

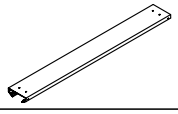
2 乾式コーナー柱

名　称	略　図	員　数
乾式コーナー柱		1

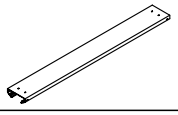
3 乾式横部材・P682.5

名　称	略　図	員　数	
		1~3段用	4・5段用
横材1		1	2
横材固定金具		ー	2
3-①φ4X16ナベピアスネジ		4	12

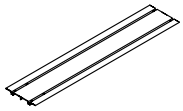
4 乾式横部材・P455

名　称	略　図	員　数	
		1~3段用	4・5段用
横材2		1	2
横材固定金具		ー	2
4-①φ4X16ナベピアスネジ		4	12

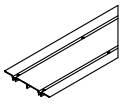
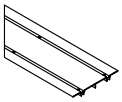
5 乾式横部材・P227.5

名　称	略　図	員　数
横材3		1
5-①φ4X16ナベピアスネジ		4

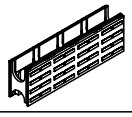
6 乾式笠木固定材

名　称	略　図	員　数
笠木固定材		1
6-①φ4X25ナベタッピンネジ2種 G=5		4

7 乾式笠木固定材・コーナー用

名　称	略　図	員　数
笠木固定材・左		1
笠木固定材・右		1
7-①φ4X25ナベタッピンネジ2種 G=5		8

8 タイル用基準ブロック

名　称	略　図	員　数
タイル用基準ブロック		4

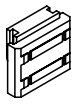
9 タイル用1/2ブロック

名　称	略　図	員　数
タイル用1/2ブロック		4

10 タイル用1/4ブロック

名　称	略　図	員　数
タイル用1/4ブロック		4

11 タイル用小口ふさぎ

名　称	略　図	員　数
タイル用小口ふさぎA		8
タイル用小口ふさぎB		8

12 タイル用コーナーブロック

名　称	略　図	員　数
タイル用コーナーブロック		4
連結プレート		8

13 二丁掛タイル

名　称	略　図	員　数
二丁掛タイル		56

■つづき

14曲左タイル

名　称	略　図	員　数
曲左タイル		48

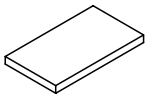
15曲右タイル

名　称	略　図	員　数
曲右タイル		48

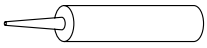
16長縦平タイル

名　称	略　図	員　数
長縦平タイル		16

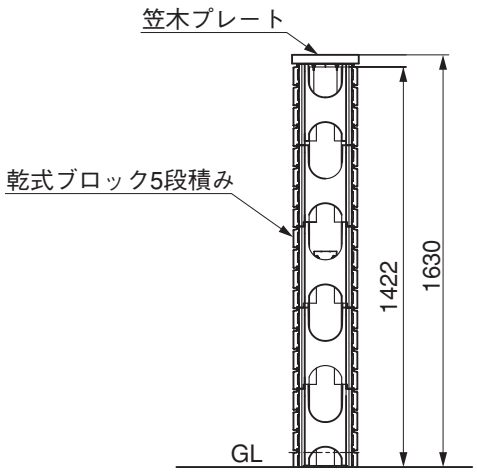
17笠木プレート

名　称	略　図	員　数	
		標準用	調整用
笠木プレート		2	2

18接着剤

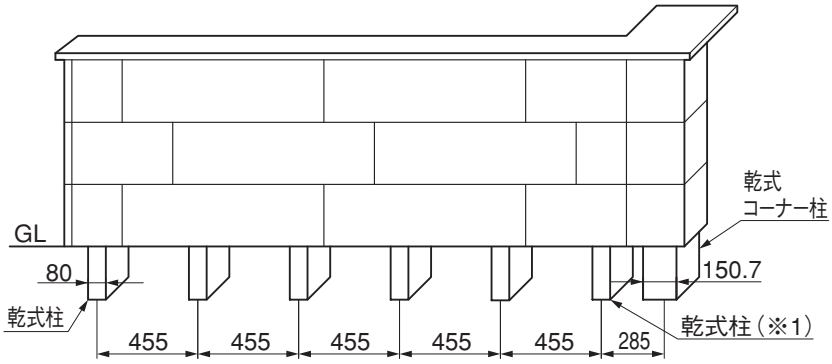
名　称	略　図	員　数	
		3本入	10本入
接着剤		3	10

1. 施工時の重要確認事項



ポイント

- 乾式ブロック積みの高さは、最大5段までで施工してください。
- 乾式ブロック1個にタイルは4段張りつけてください。



ポイント

- 乾式柱の基準ピッチは、455mmです。
- 乾式ブロックの端部には、必ず乾式柱を設置してください。
- コーナーブロックと連結するブロックのコーナー寄りの穴には、必ず乾式柱を入れてください。（※1）

補 足

- 乾式ブロック積は、ブロックのずれ、倒れを防ぎ、平滑なブロック面を出すために、千鳥積が基本です。

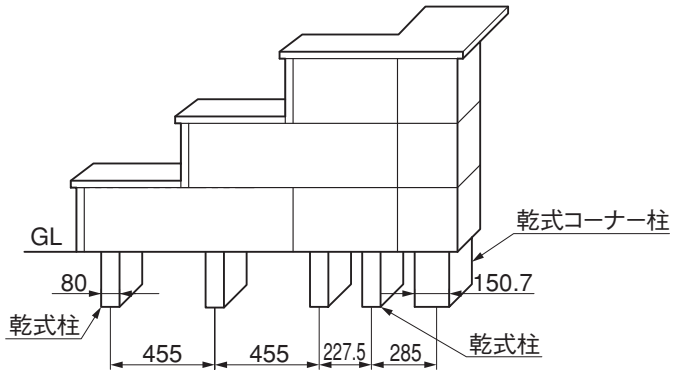
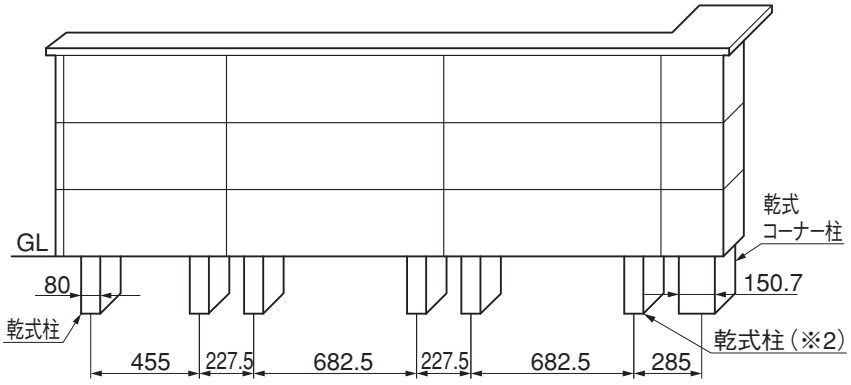


図1-1　階段積みの柱配置

1. つづき

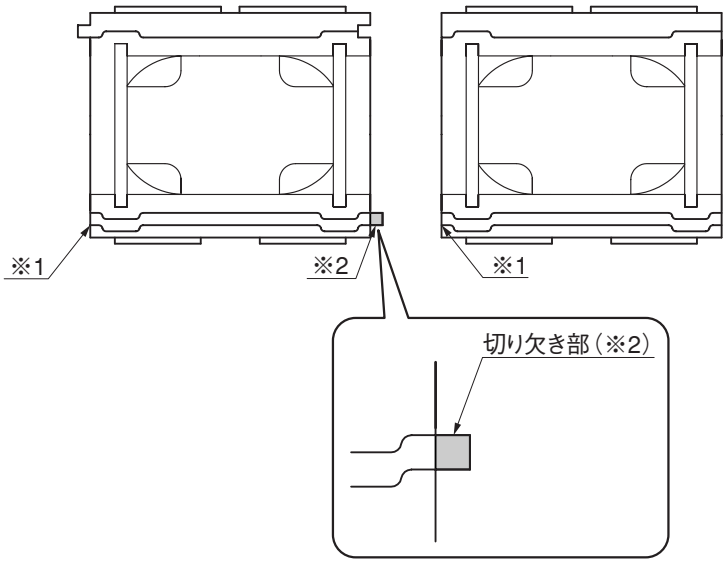


ポイント

- 芋積みの場合、乾式ブロックの両端の穴に乾式柱を設置してください。（※2）

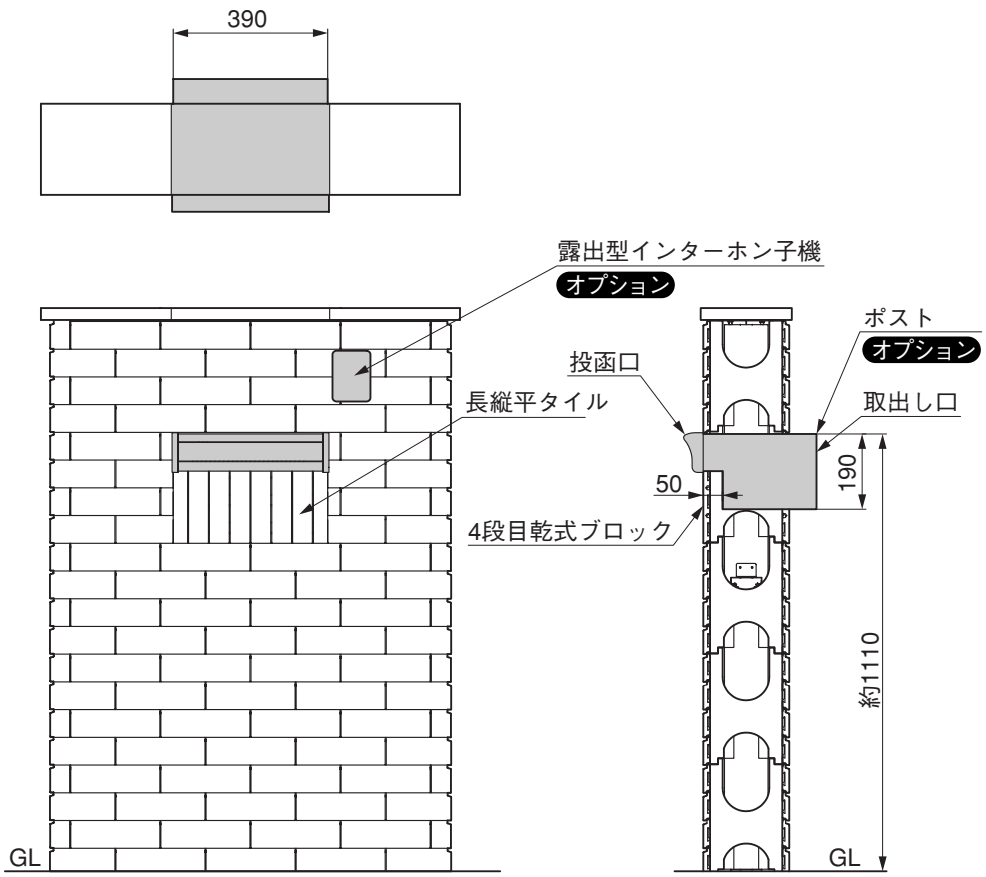
補 足

- 芋積みの場合の乾式柱のピッチは、最大682.5mmです。



補 足

- タイル用1/4ブロック、タイル用1/2ブロック、タイル用コーナーブロックは、連結方向の接合面に、凹溝（※1）が無いものがあります。乾式ブロックを積上げる時に、組み合わせるほうの乾式ブロックの凸部（※2）を切り取ってください。



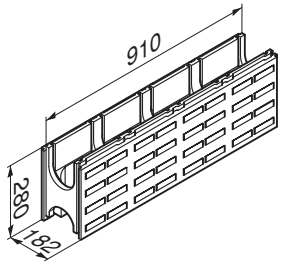
補足

- ポストは、口金、埋込みタイプで、本体寸法が高さ190mm以下、幅390mm以下のものが取付け可能です。
- ポストを取付ける時は、4段目の乾式ブロックを現場で切欠き加工してください。

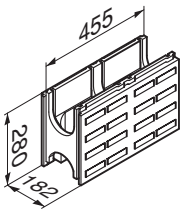
2. 基本寸法と各部名称

2-1 乾式ブロック基本寸法

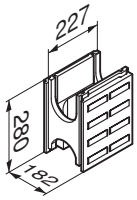
(1) タイル用基準ブロック



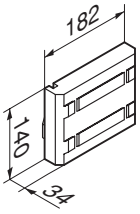
(2) タイル用1/2ブロック



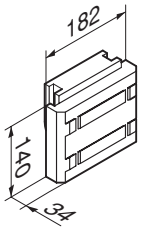
(3) タイル用1/4ブロック



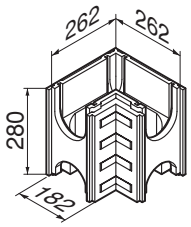
(4) タイル用小口ふさぎA



(5) タイル用小口ふさぎB

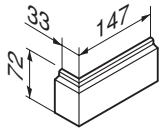


(6) タイル用コーナーブロック

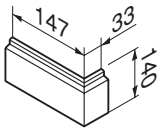


2-2 タイル・笠木プレート基本寸法 ※タイルの厚みは、14mmまたは15mmです。

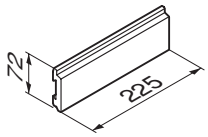
(7) 曲左タイル



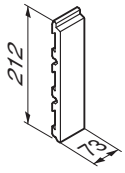
(8) 曲右タイル



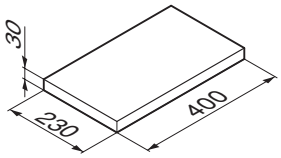
(9) 二丁掛けタイル



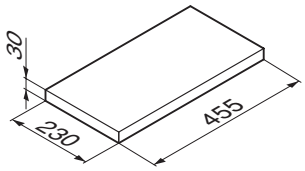
(10) 長縦平タイル



(11) 笠木プレート 基準用

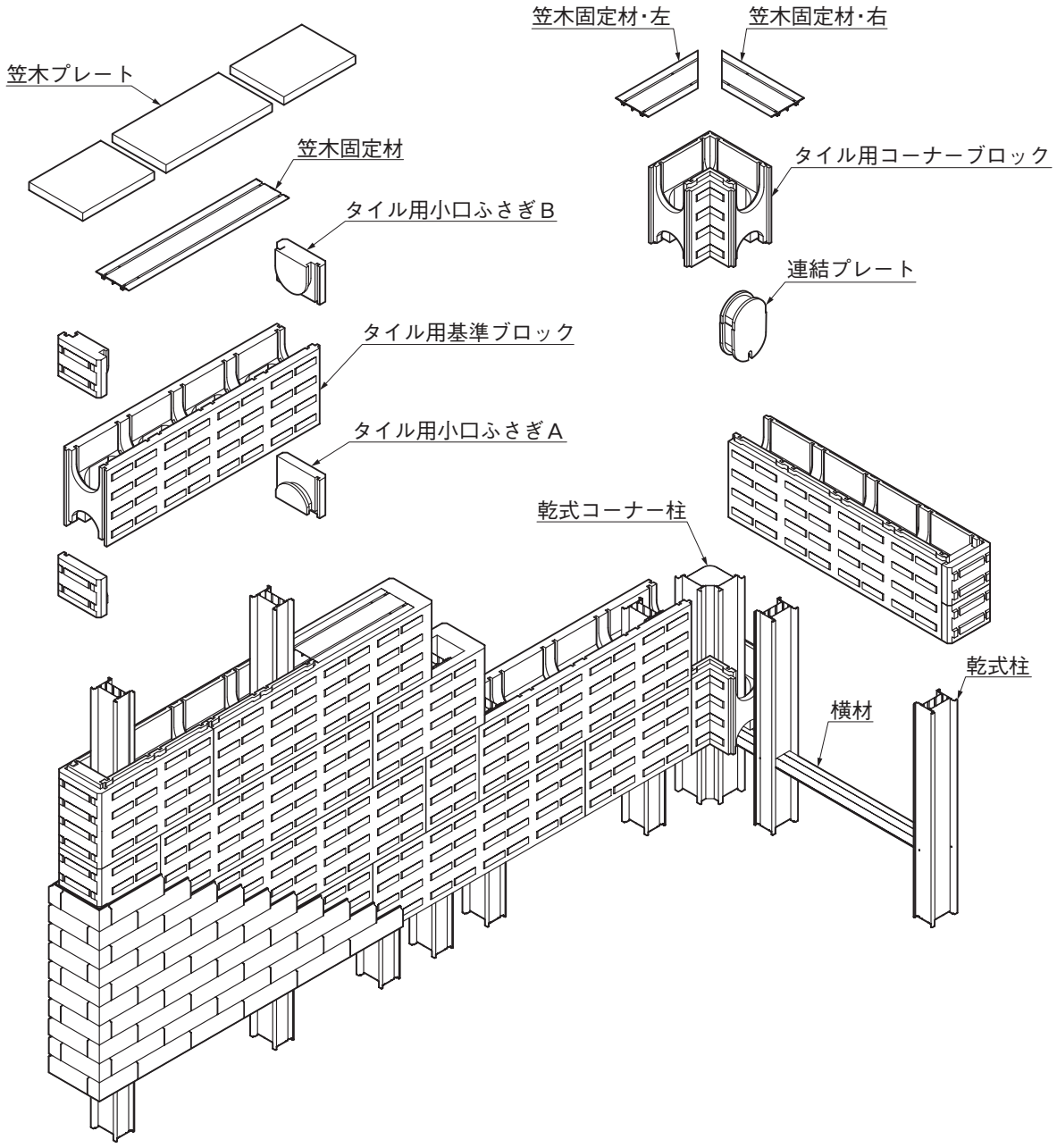


(12) 笠木プレート 調整用



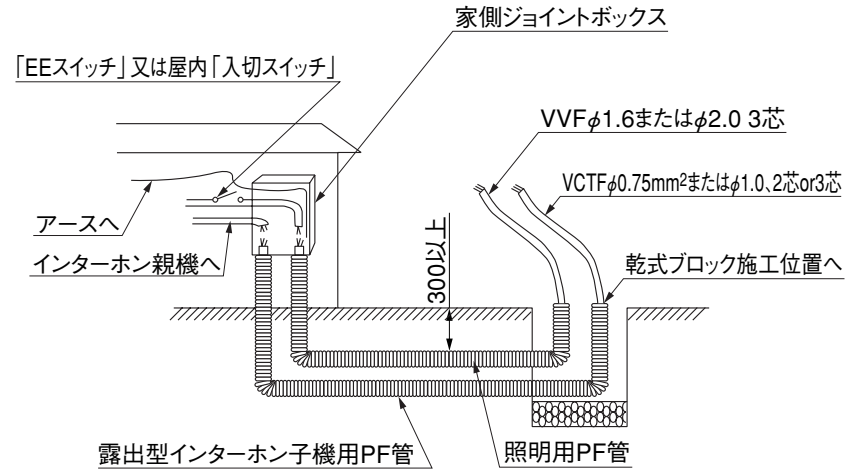
2. つづき

2-3 各部名称

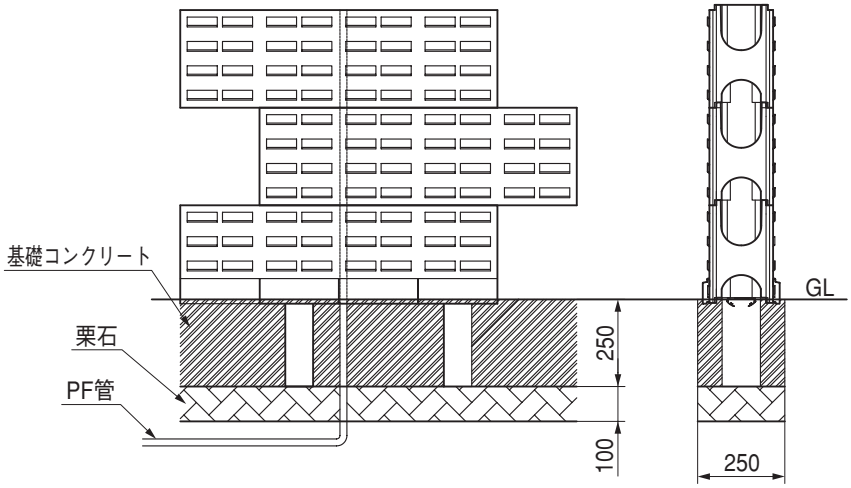

笠木固定材･左
笠木固定材･右
笠木プレート
笠木固定材
タイル用コーナーブロック
タイル用小口ふさぎB
連結プレート
タイル用基準ブロック
タイル用小口ふさぎA
乾式コーナー柱
乾式柱
横材

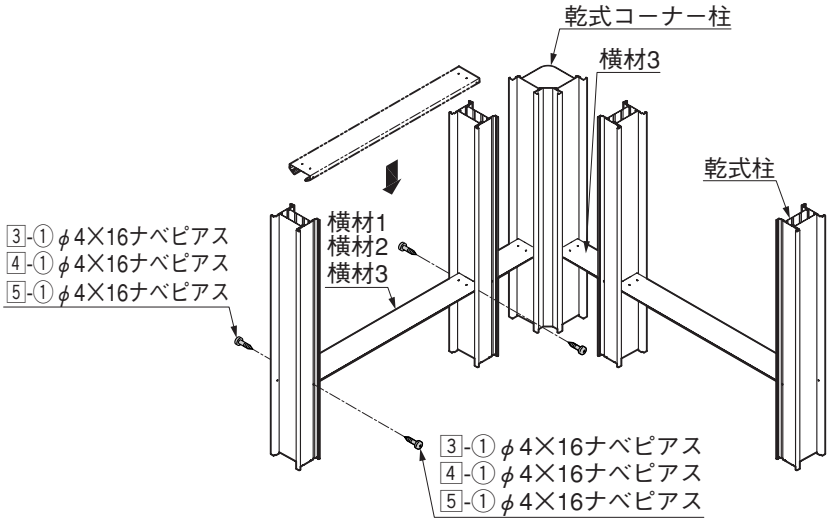
3. 基礎工事と配管工事

※配線工事、LEDフットライト・インターホン子機を取付ける場合の作業です。
配線工事が不要な場合は、②の作業は不要です。



❶基礎穴を掘り、栗石を敷いてください。
❷LEDフットライトと露出型インターホン子機の配線配管をしてください。





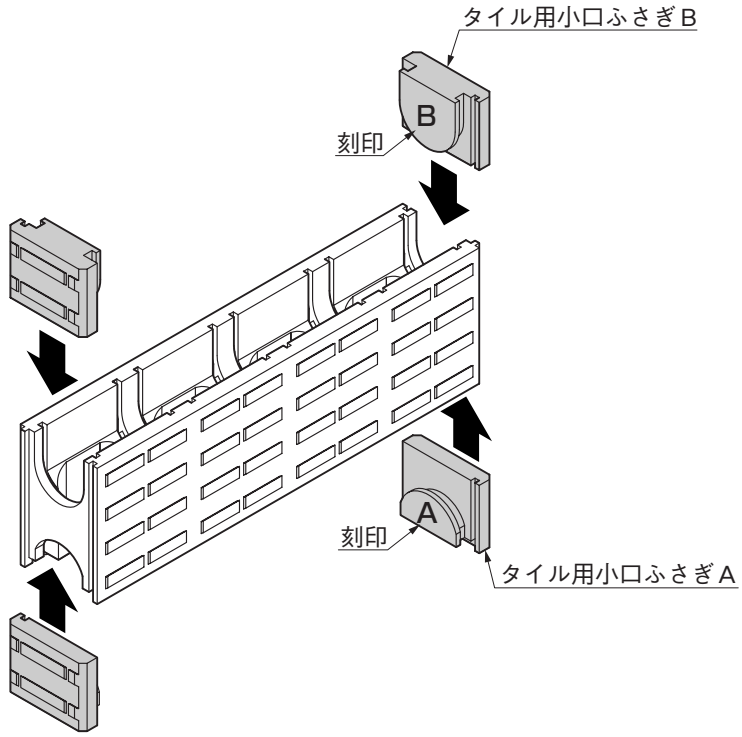
❸乾式柱、乾式コーナー柱と各横材を3-①、4-①、5-①で取付けてください。

ポイント

- 乾式コーナーと最寄りの乾式柱間には、横材3を取付けてください。
- 各柱には上下の区別があります。各横材を取付けるための穴がある方を、下側にしてください。

表3-1 柱ピッチと使用横材

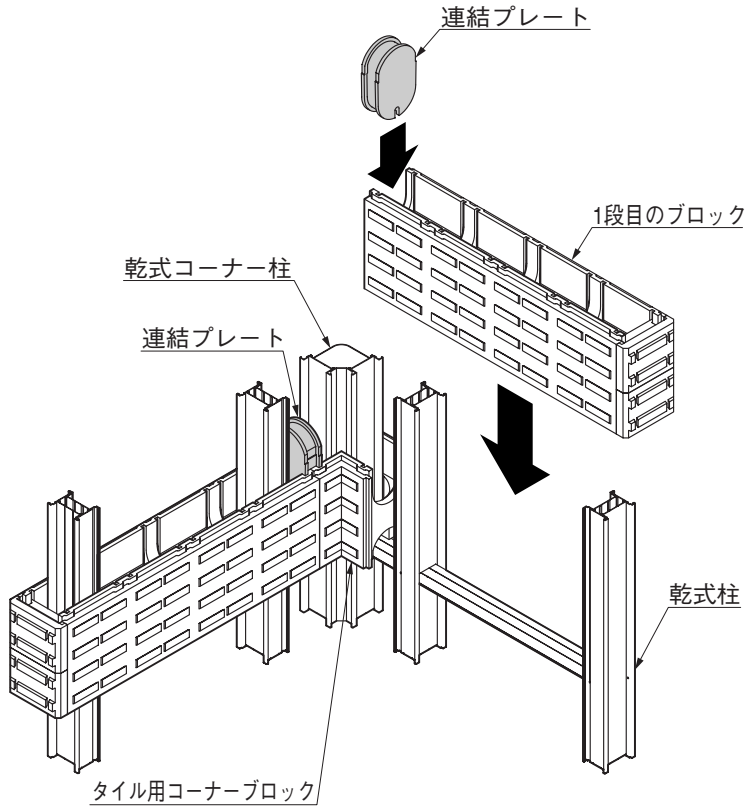
使用横桟 / 柱ピッチ	横材1	横材2	横材3
682.5	647.5	—	—
455	—	420	—
227.5	—	—	192.5



❹乾式ブロック端部に、タイル用小口ふさぎA、タイル用小口ふさぎBを取付けてください。

補足

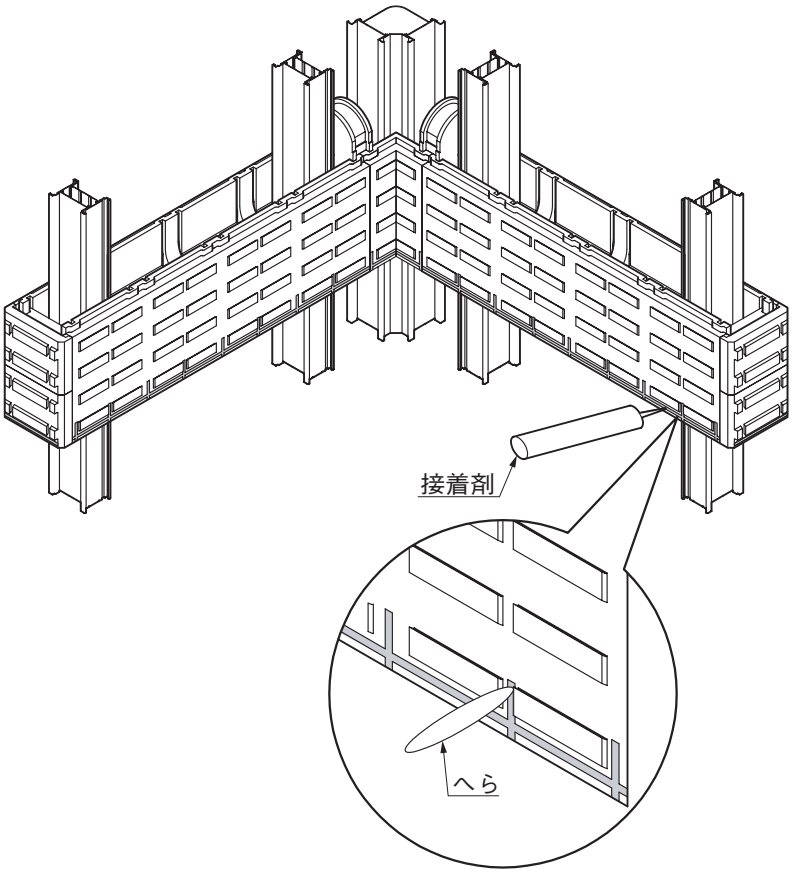
- 各タイル用小口ふさぎにはA・Bの刻印があります。



❺1段目の各乾式ブロックを乾式柱、乾式コーナー柱上部からはめ込んでください。

❻タイル用コーナーブロックは、連結プレートで他の各ブロックと連結してください。

3. つづき



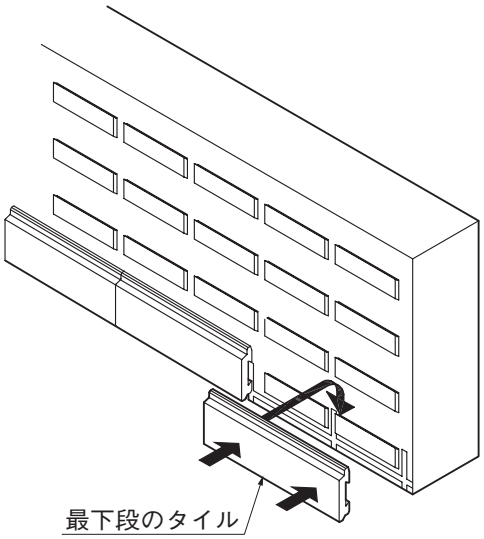
❼接着剤を各乾式ブロック凸部下側に、5mm程度盛り上がるように塗布してください。
❽タイル縦目地部にも接着剤を塗布して、10～15mm幅のへらで厚み1mm～2mm程度に引き延ばしてください。

ポイント

- 1回の塗布面積は、接着剤の表面に皮膜層が出来るまでにタイルを張り付け可能な面積にしてください。
- 縦方向に塗布する接着剤は、タイル目地から下地の発泡材が白く見えるのを防ぐためのものです。

補足

- 接着量は、タイル用基準ブロック1個当り、接着剤1本が目安です。



❾各乾式ブロック最下段に各タイルを張付けてください。
❿目地の直しは、張付け後30分以内に行ってください。
⓫基礎コンクリートを打設してください。

ポイント

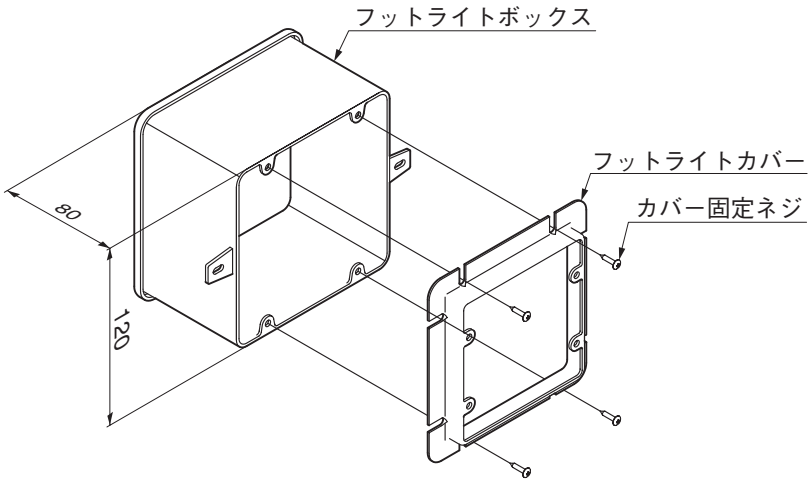
- 養生中は配線用の穴から雨水等が入らないようにしてください。

4. 下段ブロックの固定

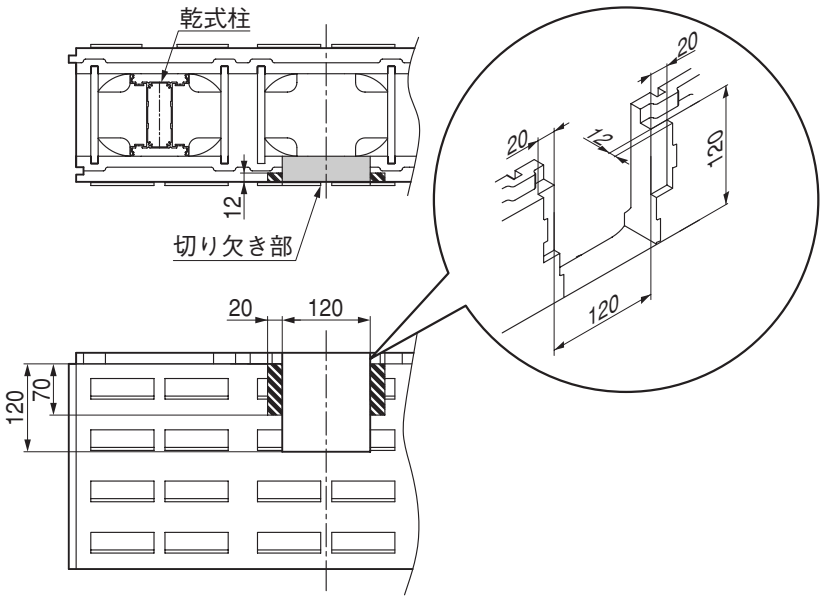
※1段、2段、3段目のブロック積みでの作業です。
※フットライトの取付けが不要な場合は、4-2を行ってください。

4-1 LEDフットライトの取付け オプション

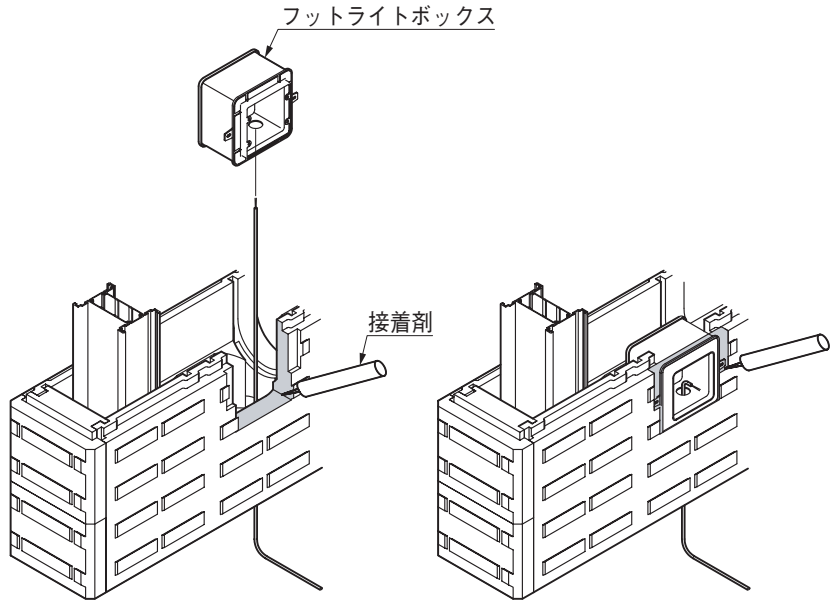
※LEDフットライトを取付ける場合の作業です。



❶フットライトボックスにフットライトカバーを「カバー固定ネジ」で取付けてください。



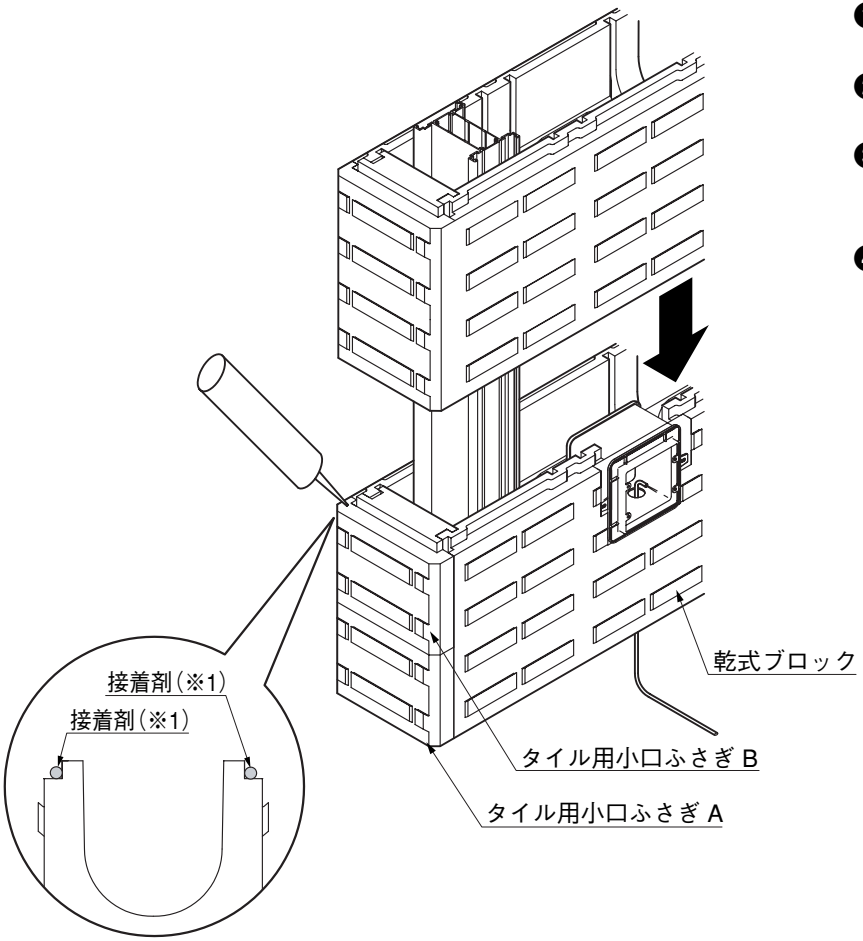
❷図4-2を参照して、乾式柱のない乾式ブロックを切り欠いてください。



❸乾式ブロックの埋込穴の開口部の周囲に接着剤を塗布してください。
❹フットライトボックスの配線穴をノックアウトしてください。
❺乾式ブロックの埋込穴の開口部にフットライトボックスを差込み、接着剤をブロック凹部に充填固定してください。
❻LEDフットライトは、「LEDフットライト取付説明書(Z147)」にしたがって取付けてください。

4. つづき

4-2 ブロックの固定

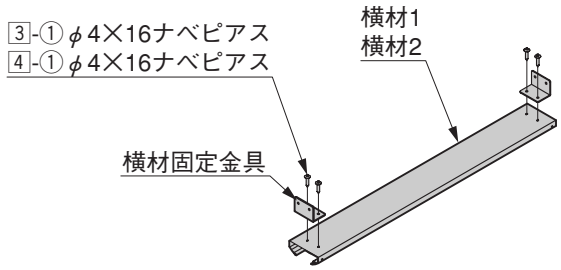


❶柱を埋込んだモルタルが十分硬化したことを確認してください。
❷重ね合わせる下段側ブロックの凸部に接着剤を塗布してください。（※1）
❸端部に積む乾式ブロックの端面には、タイル用小口ふさぎA、タイル用小口ふさぎBを取付けてください。
❹乾式ブロックは柱上部より差込んでください。

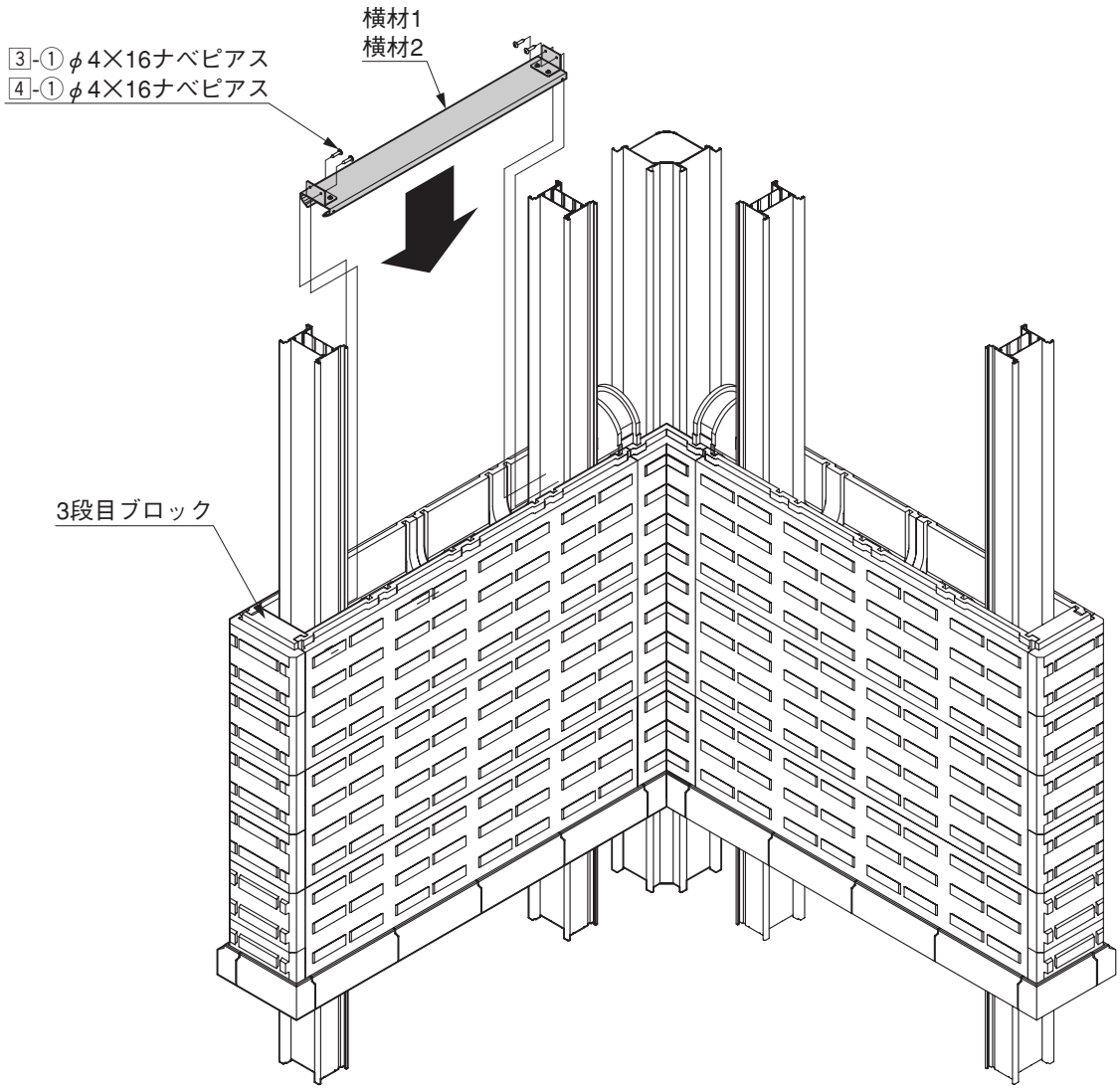
5. 上段ブロックの固定

※4段、5段積み仕様の場合に行う作業です。
※インターホン取付け材セット取付説明書(E141)「2.配線工事」と同時に行う作業です。

5-1 横材の取付け



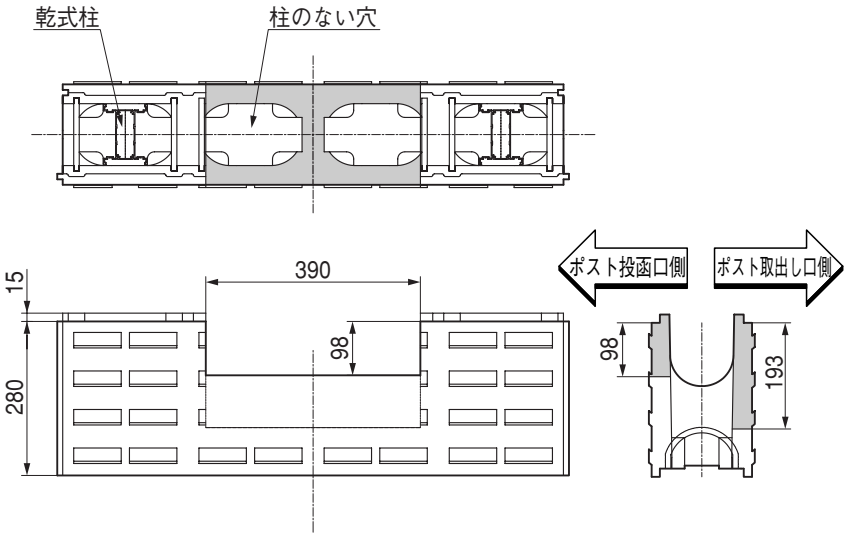
❶横材1、横材2に、横材固定金具を3-①、4-①で取付けてください。



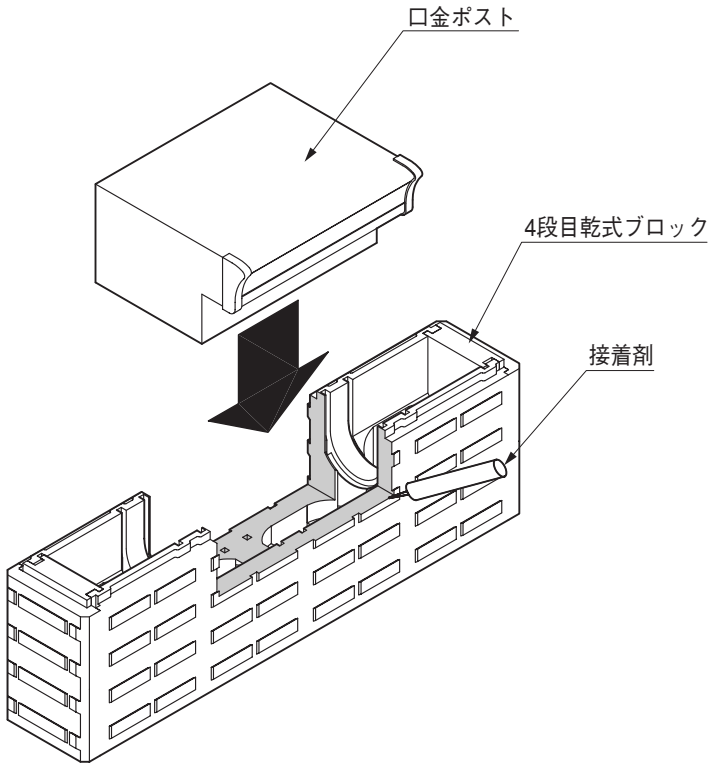
❷3段目ブロックの柱上部から横材1、横材2を差込んで、3-①、4-①で固定してください。

5. つづき

5-2 ポストの取付け オプション



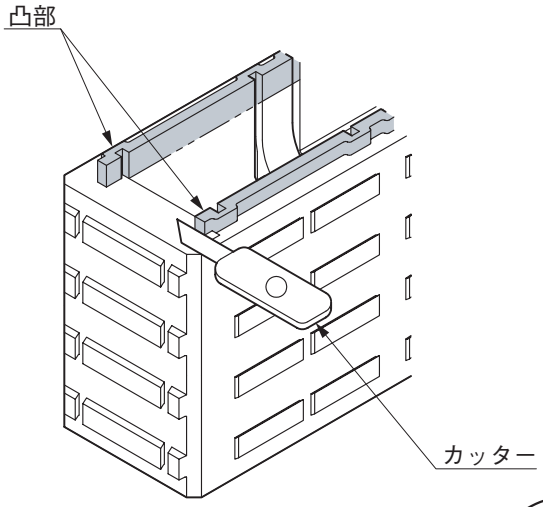
❶ポストを取付ける前に、ポストの取付説明書で納まり条件を確認してください。
❷ポストを取付ける時は、4段目の乾式ブロックに切欠き加工をしてください。



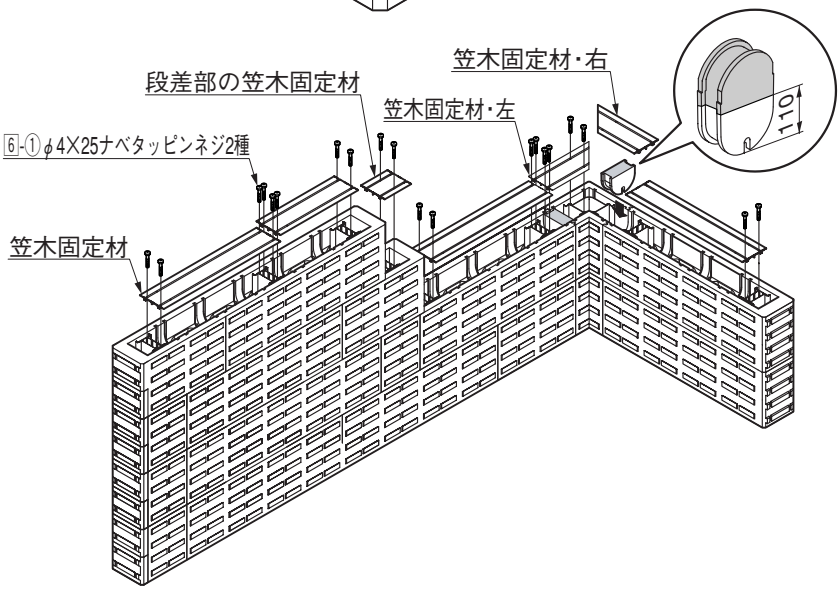
❸乾式ブロックの埋込穴の開口部の周囲に接着剤を塗布して口金ポストを固定してください。

5. つづき

5-3 笠木固定材の取付け



❶最上段の乾式ブロックの上部凸部を切り取って、天面を平滑にしてください。



❷最上段の連結プレートは、110mmに切断して差し込んでください。
❸各笠木固定材を6-①で固定してください。

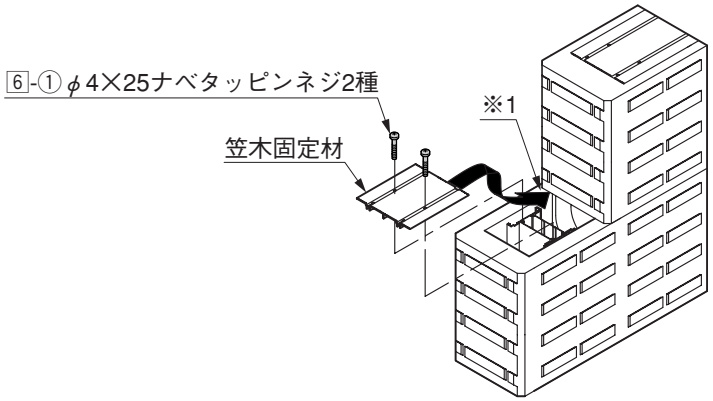
表5-1 柱ピッチと笠木固定材の使用区分

基準長 / 柱ピッチ	1ブロック用	1/2ブロック用	1/4ブロック用
682.5	682.5	―	―
455	―	455	―
227.5	―	―	227.5

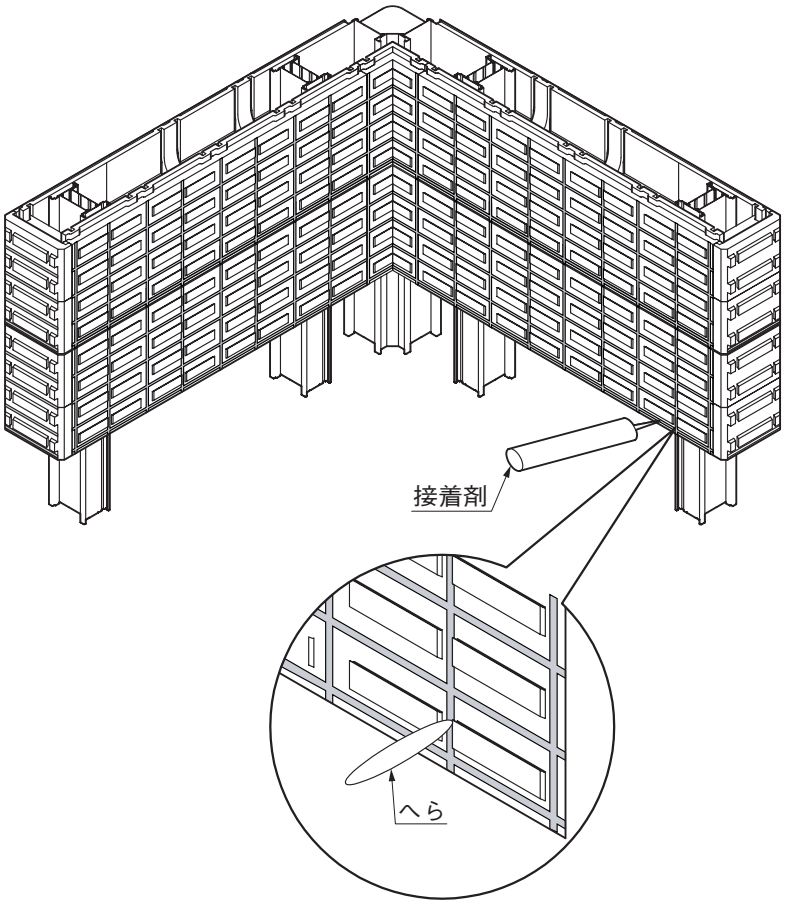
❹段差部の笠木固定材は、基準長より55mm切詰めて、6-①で固定してください。

補 足

- 笠木固定材は、段差上側のブロック(※1)下面に差し込んでください。



6. タイル張り



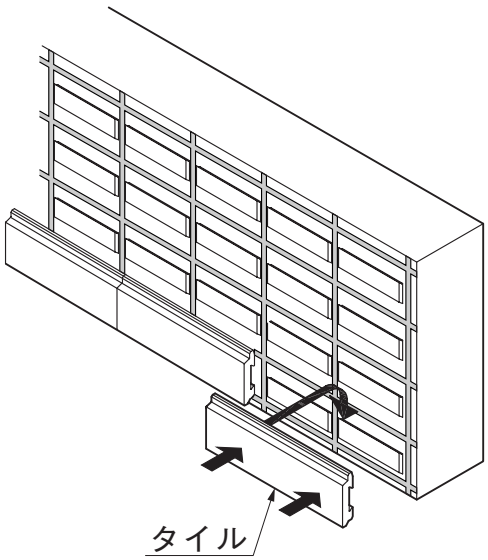
❶接着剤を各乾式ブロック凸部下側に、5mm程度盛り上がるように塗布してください。
❷タイル縦目地部にも接着剤を塗布して、10～15mm幅のへらで厚み1mm～2mm程度に引き延ばしてください。

ポイント

- 1回の塗布面積は、接着剤の表面に皮膜層が出来るまでにタイルを張り付け可能な面積にしてください。
- 縦方向に塗布する接着剤は、タイル目地から下地の発泡材が白く見えるのを防ぐためのものです。

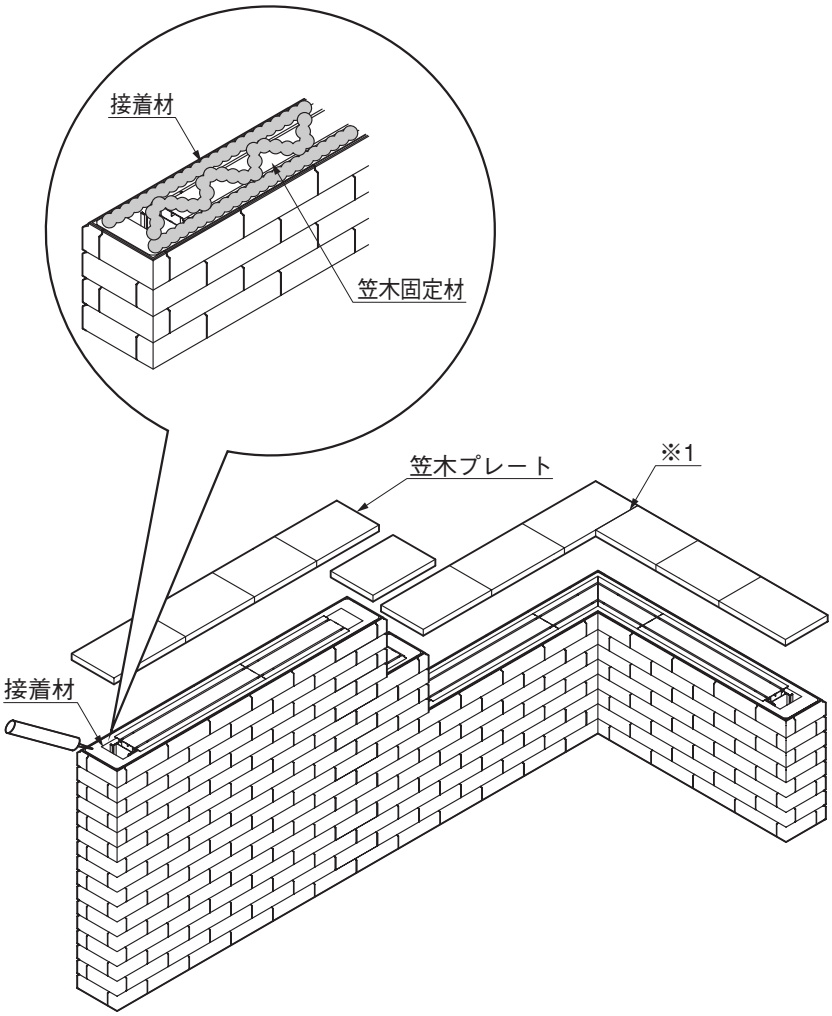
補足

- 接着量は、タイル用基準ブロック1個当り、接着剤1本が目安です。
- 接着剤の表面に皮膜層が出来る時間は気候によってかわりますが、15分を目安にしてください。



❸タイルは下段から上段に向かって、乾式ブロックに引っ掛けて固定してください。
❹ポスト、インターホン、LEDフットライト周りは、二丁掛タイル、長縦平タイルを現場で切詰め加工して割付けてください。
❺目地の直しは、張付け後30分以内に行ってください。

7. 笠木プレートの取付け



補 足

- 笠木プレートは、上下、左右の向きがあります。
  切詰めをする場合は、加工する方向を確認してください。

❶笠木プレートの割付けが合わない場合には、切詰め加工をしてください。
❷笠木固定材と乾式ブロックに、接着剤を5mm程度盛り上がるように塗布してください。

❸笠木プレート同士は、目地を取らずに突き付けて取付けてください。
❹コーナー部は、一方の笠木プレートにもう一方の笠木プレートを突き当てて取付けてください。（※1）

自然が未来

TOEX

東洋エクステリア

取説コード

E137

200310A_1001